



令和2年1月8日(水)
練馬区立開進第四小学校
校長 河崎 晃二

開四小だより

1月号

新しい学習指導要領の実施に向けて

校長 河崎 晃二

明けましておめでとうございます。

令和の最初の年明けは、いかがでしたでしょうか。保護者、地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。昨年中は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしく願いいたします。

*

さて、いよいよ4月より新しい学習指導要領が完全実施となります。どの教科も子供の育成を目指す資質・能力について「(生きて働く) **知識及び技能**」、「(未知の状況にも対応できる) **思考力、判断力、表現力等**」、「(学びを人生や社会に生かそうとする) **学びに向かう力、人間性等の涵養**」の三つの柱に沿って示しています。また、5,6年生の「外国語(英語)」が年間70時間、3,4年生の「外国語(英語)活動」が年間35時間の指導が始まります。

このような改訂に至ったのは、ここ数年で、知識・情報・技術をめぐる変化の速さが加速度的となり、情報化やグローバル化といった社会的変化が予測を超えて進展するようになったからです。

2045年にはAI「人工知能」は、人類を超えると予測されています。これまでになかったものが新たに生まれる可能性もあります。

これからは、人間の感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自分で考え出すことが求められます。また、さまざまな文脈が入り交った環境の中でも、場面や状況を理解して自ら目的を設定し、目的達成のために必要な情報を見付けることが必要になってきます。そして、その情報を基に自分の考えをまとめたり、相手に伝わるふさわしい表現を工夫したりしながら、答えのない課題に対して多くの人と協働して目的に応じた納得する解決方向を見出す力を育てなければなりません。

そこで、開進第四小学校では、教育課程や指導計画を見直し、来年度に向けての準備を進めているところです。特に週あたりの授業時数がこれまでよりも増えるので、時数確保が必要になります。開四小では、子供たちの日々の時程をあまり崩さないようし、行事の精選を中心に考えました。特に、これまで行ってきた運動会や学芸会、音楽会等の準備にかかる時数の配分を変えていくことにしました。そのため、これまで行ってきたやり方とは多少違ってくるかと思えます。しかし、私たちは知恵を出し合い、限られた時間の中で充実した教育活動となるよう取り組んでまいります。ご理解くださいますようよろしくお願いいたします。

新しい学習指導要領の実施に向けて、他にもこれまでとは変わってくるところがありますので、今後お知らせしていきます。